

2016べっぴん男女共同参画フォーラム (報告)

～ 2016. 9. 10 (土) ニューライフプラザでフォーラムを開催～

第1部 ミニコンサート タイの文化紹介・民族舞踊



立命館アジア太平洋大学 タイの留学生の皆さんにダンスを披露していただきました。踊りの意味や、簡単なダンスも教えていただき、会場にたくさんの笑顔があふれるひとときになりました。

～ 来場者アンケートより ～

別府市においてAPUとの関わりは大切です。APUの留学生の協力は有効だったと思います。留学生さんも良い思い出になったでしょう。

(60代・男性)

留学生さんの笑顔がなにより素晴らしいと思いました。自分の国を大切にしたいと、日本の私たちにタイのよさを伝えたいという気持ちが伝わりました。

(60代・女性)

第2部 講演 「子育て・孫育てからの自分育て ～ Be happy and smile ～」

●なぜ今男性の育児参画に注目が？

社会構造・経済状況・ライフスタイルの変化で、子どもを産み育てることが難しくなってきた
旧来の男女の役割や働き方の見直し ⇒ 父親の育児・家事参加、女性の社会進出

●男性の子育ての悩み・課題

- ① 仕事が忙しくて育児時間が取れない
- ② 子どもとどう向き合っているかわからない
- ③ 子どもが生まれてから夫婦関係が悪化した
- ④ 経済力がなく育児が不安



家がホームではなく、アウェーになっている！

ファザーリング Fathering のすすめ

- ★父親であることを楽しもう
- ★地球上で父親ほど素晴らしい仕事はない
- ★育児は期間限定のプロジェクトX
- ★育児は能力開発の機会、アナザーワールドへの入口
- ★よい父親ではなく、笑っている父親になろう！



【イクメン5段階活用】

男性の自分育て

イクメン (育児)



イクメン (地域活動)



イクボス (経営者・管理職)



イクジイ (祖父支援)



ケアメン (介護)



講師：安藤 哲也さん

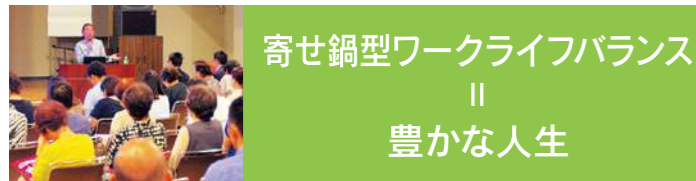
NPO法人ファザーリングジャパン
ファウンダー／代表理事

～ 来場者アンケートより ～

男性の家事・育児参加が進めば日本全体が元気になるということに驚いた。どうしても女性が家事・育児の負担が大きくなるので、男性の参加がどんどん進んで欲しい。(30代・女性)

私はまだ結婚もしていない立場ですが、男性が育児に積極的に参加する社会になることが、豊かな人生につながると感じました。(30代・男性)

父親が変われば、
家庭が変わる、地域が変わる、企業が変わる、
そして、社会が変わる。



寄せ鍋型ワークライフバランス
＝
豊かな人生

【編集後記】今年度、世界経済フォーラムの評価における日本の男女格差は、144か国中111位と厳しい状況であった。別府市の現状も同様であろう。この2年間「あすてっぴ」に関わって、女性には能力発揮のための方策や場が必要であり、男性には生涯を見通したワークライフバランスが求められていることを学んできた。あらゆる分野で男女が共同参画していくことが、誰もがより良い人生を生きるために必要な時代になっていることを強く感じている。 市民編集委員 小川 恵子 花木 淳子

湯のまち「べっぴん」

男女 共同参画

あすてっぴ

～誰もが自分らしく輝くために～

「あす・べっぴん」では、毎月広く市民のみなさんを対象にした主催講座を行っています。



●「心も体もリフレッシュ！
しなやかな体をつくろう」



●「夏休み講座 サンドアート作り」



●「初級編 英語教室」



別府市男女共同参画センター あす・べっぴん

平成29年4月1日で設立より4年目を迎えます。今年も様々な講座・イベントを計画しております。多くのおみなさまのご参加をおまちしております。



●「子育て応援！親子の料理教室」



●「女性のための再就職サポートセミナー」



●「夏休み講座 竹かご作り」

Contents

- きらり！輝く人みつけた
—別府市男女共同参画審議会委員— ……02
- あす・べっぴんからのお知らせ ……03
- '06男女共同参画フォーラム報告 ……04



あすてっぴの愛称…「あす」は明日と、英語で私たちがを表す us を意味し、「ステップ」は英語で足取りや歩調、そして段階を表す step、また、「び」は別府の「府」です。私たちの明日(未来)の、男女共同参画のまち別府を、性別にとらわれず、自分らしく自分の足取りで生きていこうという気持ちを込めています。

発行：別府市自治振興課男女共同企画推進室 〒874-0903 別府市大字別府字野口原3030番地1 編集：あすてっぴ市民編集委員
TEL 0977-21-8289 FAX 0977-21-9042 E-メール aup-pf@city.beppu.oita.jp
男女共同参画の推進について、ご意見・ご質問をお寄せください。

★きらり！輝く人み～つけた★

今回は、第6期別府市男女共同参画審議会の委員の皆様をご紹介します！
会長の雨宮洋子さんと副会長の村田広子さんにお話を伺いました。



別府市男女共同参画審議会とは…

男女共同参画社会の実現に向けて、市民一人ひとりが個性と能力を発揮して、あらゆる分野に参画できるまちづくりを目指し、市と市民が共同で取り組んでいくため、男女共同参画社会の形成の推進に関する重要な項目について審議等を行います。任期は2年間です。



雨宮 洋子さん
第6期別府市男女共同参画審議会会長
社会福祉法人泰生会理事長

Q.男女共同参画社会ということに関して、問題だと感じられることは？

- 現在、社会制度面での問題は感じない。
以前は女性ばかりだった介護の世界も、雇用機会均等法等で男女の働き方に差がなくなったので、介護福祉士・看護師など数においても男女の差がなくなってきた。
- 政治や行政面では、男性が圧倒的多数の世界であり問題だと感じる。広い視野でものごとを決めていくには、決定の場に女性の数を増やす必要がある。

Q.高齢者福祉に取り組んでいて男女の差を感じていることは？

- 現在の高齢者は、特に男性に問題が多いと感じる。
仕事人間として生きてきた男性は、リタイヤすると喪失感を感じ老後を豊かに楽しむことができにくい傾向にある。
男性は、身の回りのことを女性にしてもらうのが当たり前ではなく、自分でできることをすることが老後の幸せに繋がることを伝えたい。

Q.男女共同参画社会ということに関して問題だと感じられることは？

- 女性のおかれた環境（就労環境）に問題が多いと感じている。
特に、子どもを育てながら働いている女性への支援体制が少ない。
例：子どもを預ける場所（保育園・学童保育など）
休日や時間外に預ける場所
病気の子どもの預ける場所 etc

Q.解決の手立てとしてどんなことが？

- 女性活躍推進法が今年度から実施されたが、大企業に適應されるもので、別府市では適應されることは少ない。別府市でも支援できる具体的な方法を模索・実践していくことが大切。

〈考えられることとして〉

- * ハローワークを中心に子育て中の女性の就労支援
- * 企業や事業所内に保育の場所を確保
- * 地域ごとの居場所づくり
- * 地域（自治会）の子育て支援の方法を検討



村田 広子さん
第6期別府市男女共同参画審議会副会長
地域子育て支援センターにじのひろば代表

審議会委員の皆様からのコメント

徳田法律事務所弁護士 徳田 宣子さん

女性であること、男性であること、その括りだけでなく、誰もが個性を大切にでき、それぞれの環境で生きづらさを感じないように、微力ながらお手伝いさせてもらいたいと思う毎日です。

別府大学教授 松田 美香さん

これまで日本語の研究をしてきました。自分の言葉で自己を的確に表現できることが、他者との良好な関係を作り上げ、暴力や自暴自棄な行動を減らしていくと信じています。

株式会社トキハ 秦 奈帆子さん

今回この委員会を通じて多種多様な職業の方とお話する機会をいただき嬉しく思います。私自身、仕事と育児の両立を目指し、ただ今奮闘中です！ よろしくお願ひ致します。

公益社団法人別府青年会議所 松田 志朗さん

別府をより良い街にする使命を持って頑張ります。男女が平等に参画できる別府市になるよう努めます。

大分労働局 藤原 幹大さん

大分労働局雇用環境・均等室は、働き方改革、女性の活躍推進などを担当しています。また、労働問題でお困りの際には当室の総合労働相談窓口までご連絡ください。

別府市人権啓発センター 佐藤 紗苗さん

2014年から別府市人権啓発センターに勤務し、部落問題をはじめとするあらゆる人権問題の解消に一職員として日々取り組んでおります。学ぶ事が多く人権について日々勉強中です。

【取材を終えて】

雨宮会長さんからは施設経営者として、また初の女性選挙管理委員など様々な要職経験から、幅広い視点での男女共同参画社会についてのお話を聞くことができました。
村田副会長さんからは、PTAを出発点に、常に女性と子どもを中心とした活動に情熱的に取り組まれてきたお話を聞くことができました。
お二人に共通した、男女共同参画社会実現のための確固たる信念と逞しい実践力に感心させられ、刺激を与えられた取材であった。



上段左から 松田美香さん・松田志朗さん・佐藤さん・藤原さん・栗牧さん・徳田さん・田原さん
下段左から 加川さん・村田副会長・雨宮会長・秦さん・江藤さん

別府市自治委員会 田原 康行さん

男女が共に働きやすい社会、環境を整えることは大変重要なことです。湯のまち「べっぷ」男女共同参画社会の早期達成に、委員として応援が出来ればと思います。

別府市民生委員・児童委員協議会 加川 英輔さん

審議会委員に委嘱され、あらゆる活動で男女の機会均等が確保される社会の形成について、ほんの少しだけですが勉強させてもらっています。性別を問わず、暮らしやすい社会、働きやすい職場、そして輝く人のあふれる別府になるといいますね。

公募 栗牧 朋子さん

看護師として働いてきて18年。産科、婦人科と勤務する中、多くの悩める女性患者様を見てきました。この経験を生かし、男女が平等に生きていける社会を実現するために貢献していきたいです。

公募 江藤 俊明さん

心の教育が浸透している先進国や先進県には本事業はないのです。私たちが古い教育から抜け出して「男女共同参画って、なに？」と言われる時代を終わらせたいものです。



あす・べっぷからのお知らせ

12月3日に第1回あす・べっぷフェスタを開催しました。東洋大学の西野理子さんの講演会『閉じる家族、開く家族～家族の歴史の変遷から考える～』や、非常食（ちゃんぽん・ぜんざい・アルファ米）の試食、危機管理課職員の防災ワークショップ等、多くの皆様にご参加いただきました。ありがとうございました！



★非常食の試食



★西野さん講演会



★防災ワークショップ



★防災の展示物

